

平成25年度

教科・科目名 科学年系コース	社会と情報 航空科・普通科 1年	授業時間数／週	2 時間
授業の目標	IT機器の急激な進化とともに変貌する現代の情報社会において、健全で生産的な関わりを持つために、情報の役割・ルールやIT技術の基本的な知識・技術を理解させ、公序良俗に反することなく豊かな社会の創造を実現する力を身に着ける。		
授業内容の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・座学および実習により、学習をすすめる。 ・座学では、情報社会で生きているための「情報リテラシー」を知識として身に着けさせる。 ・実習ではパソコンを持参させ、「タッチタイピング」、「ワープロ」、「表計算」、「プレゼンテーション」を中心に進める。 ・実技教科については、各單元ごとに実技試験を実施する。 ・授業の総合評価については、定期試験40%、実技試験40%、評点20%とする。 		
評価方法について	試験 40点 実技試験 40点 評点 20点		
使用テキスト 教科書 副教材	最新社会と情報(実教出版)、 30時間でマスターExcel2010、Word2010(ともに実教出版) 最新社会と情報 学習ノート (実教出版)		
年間授業計画	前期 4月: 第1章 情報社会と私たち 第5章 法規とセキュリティ 5月: タッチタイピング実習 実技試験 6月: ワープロ実習(Word2013,2010) 表と図形、図の挿入 ビジネス文書作成 ワープロ実技試験 7月: 第2章 情報機器とデジタル 表現 より デジタルと情報機器 前期期末試験 9月: ワープロ実習 実技試験 表計算実習(Excel2013,2010) データ入力、罫線	後期 10月: 表計算実習 基本的な関数、グラフ 実技試験 11月: 表計算実習 絶対番地と相対番地、条件と分岐 12月: 表計算実習 データの分析への応用 実技試験 プレゼンテーション実習(OpenOffice) 1月: プレゼンテーション実習 シートの作成、アニメーション 2月: プレゼンテーション実習 発表 第2章 情報機器とデジタル 表現 より デジタル表現 第4章 コミュニケーションと ネットワーク 第6章 情報社会と問題解決 3月: 後期期末試験	

平成25年度 航空科・普通科 1年 年間学習計画

学期 月 配当時間	単元 項目 学習内容	学習のねらい ポイント	学習活動 (評価方法)
前期 4月 配当時間 6h	第1章 情報社会と私たち 第5章 法規とセキュリティ	情報社会の中で生きていくために必要なことを学習する ・情報化社会のメリットは何か ・情報化社会のデメリットに対応するには ・情報の特徴と私たちが必要な能力とは 個人情報の保護、セキュリティ対策はどのように考えられているか理解する	座学授業 期末試験で評価
5月 配当時間 6h 2h	タッチタイピング実習 ホームポジション、キーと指の分担 実技試験 ワープロ実習 ページ設定、文字入力	ホームポジションおよび各キーの指使いについて、体で覚えること ワープロの基本操作を覚えること	実習授業 実技試験で評価 実習授業
6月 配当時間 8h	ワープロ実習 文字の修飾 表の作成 図の作成と挿入	ワープロの基本操作ができること	実習授業 課題評価 実技試験評価
7月 配当時間 4h	第2章 情報機器とデジタル 表現 より デジタルと情報機器 前期期末試験	情報社会の中で利用されている、情報機器やそのしくみがわかっていること	座学授業 ワーク提出評価 前期期末試験で評価
9月 配当時間 4h 4h	ワープロ実習 ビジネス文書の作成 実技試験 表計算実習 データの入出力、移動、複写	ワープロでビジネス文書が作成できること データ入力ができること	実習授業 実技試験評価 実習授業 課題評価
後期 10月 配当時間 8h	表計算実習 基本的な統計関数の利用 基本的なグラフの作成 実技試験	Excelの基本的な機能が使えること	実習授業 課題評価 実技試験評価

11月 配当時間 8h	表計算実習 番地の絶対参照と相対参照 条件と処理の分岐	番地の絶対参照と相対参照の意味が理解できること IF関数を使いこなせること	実習授業 課題評価
12月 配当時間 4h	表計算実習 まとめ	Excelの機能を利用して、データの傾向をつかめること	実習授業 課題評価
2h	プレゼンテーション実習	シートへの入力ができること	実技試験評価
1月 配当時間 4h	プレゼンテーション実習 アニメーション効果	デザインの工夫や、アニメーション等を利用して要点の強調ができること。 発表内容がわかりやすくまとめられていること	実習授業 課題評価
2月 配当時間 2h	プレゼンテーション	発表のマナーも含め、わかりやすくプレゼンテーションできること。	実習授業 プレゼンテーション評価
6h	第2章 情報機器とデジタル表現より デジタル表現 第4章 コミュニケーションとネットワーク	0と1しかないデジタルデータがさまざまな情報を扱うしくみを理解する。 インターネット、LAN、e-mailのしくみを理解する。	
3月 配当時間 2h	第6章 情報社会と問題解決 後期期末試験	問題解決の手法を学び、実社会で応用できること。	座学授業 ワーク提出評価 後期期末試験で評価

0